

**FOR IMMEDIATE RELEASE**

## エクイスエナジー最高経営責任者(CEO)にニティン・アプテ氏が就任

(シンガポール・2018年2月26日)

アジア太平洋地域最大の独立発電事業者 (IPP) であるエクイスエナジーは、ニティン・アプテ氏を最高経営責任者 (CEO) に任命しました。

シンガポールに本社を置くエクイスエナジーは、インド、インドネシア、オーストラリア、タイ、フィリピン、台湾および日本に跨り、180カ所以上、合計 11,135MWにのぼる再生可能エネルギー事業ポートフォリオを保有 (運営、建設、開発中案件含む) しています。

エクイスエナジー取締役会長のラジャラム・ラオは次のように述べています。

「設立以来、わずか 5 年の間にエクイスエナジーはアジア太平洋地域の再生可能エネルギー分野において実に輝かしい功績を挙げました。25 年以上に及ぶ多国間経営、運営経験が豊富なアプテ氏は、まさにエクイスエナジーを次の成長フェーズへ導く役目にふさわしい人物であり、彼の経営指揮の下で我々は更なる成長を続けることができると考えます。」

エクイスエナジーに着任以前は、アプテ氏は特殊素材を扱うマテリア社 (米国) の最高責任者・社長を務めており、新たな戦略パートナーの確保や生産拠点の拡大を通じて同社を急成長させました。

また、マテリア社以前には、25 年以上に亘り SABIC 社およびジェネラルエレクトリック社において、損益管理の戦略リーダーシップからマーケティング、イノベーション、サプライチェーン、シックス・シグマ、製造および品質管理に至る各分野に従事していました。

アプテ氏はインド工科大学 (ムンバイ) を航空工学士号にて卒業し、米国オハイオ州立大学より科学修士号および経営学修士号を取得しています。

### エクイスエナジーについて

シンガポールに本社を置くエクイスエナジーは、アジア太平洋地域に 15 のオフィスを展開し、300 名以上のスタッフを有しています。エクイスエナジーは、2017 年 3 月 27 日時点でオーストラリア、インド、インドネシア、日本、フィリピン、台湾およびタイに跨り、102 カ所、合計 4.7GW (運営、建設、建設確定済みの案件を含む) の再生可能エネルギー発電事業を保有するアジア太平洋地域最大の再生可能エネルギー独立系発電事業者(IPP)です。エクイスエナジーはこのほかに 71 カ所、6.3GW の開発中案件も保有しています。

本プレスに関するお問合せはこちらまで：

Roberto De Vido (ロベルト・デヴィド)

コミュニケーション ディレクター

[roberto.devido@equisenergy.com](mailto:roberto.devido@equisenergy.com)